

ルーティングのトラブルシューティング

- ルーティングの問題のトラブルシューティングについて (1ページ)
- トラブルシューティング ルートの初期チェックリスト (1ページ)
- ルーティングのトラブルシューティング (2ページ)
- ポリシーベース ルーティングのトラブルシューティング (5ページ)
- ダイナミックロードバランシングのトラブルシュート (6ページ)

ルーティングの問題のトラブルシューティングについて

レイヤ3ルーティングには、最適なルーティングパスの決定とパケットの交換の決定という、2つの基本的動作があります。ルーティングアルゴリズムを使用すると、ルータから宛先までの最適なパス(経路)を計算できます。この計算方法は、選択したアルゴリズム、ルートメトリック、そしてロードバランシングや代替パスの探索などの考慮事項により異なります。

Cisco NX-OS は、複数の仮想ルーティングおよび転送(VRF)インスタンス、および複数のルーティング情報ベース(RIB)をサポートしており、複数のアドレスドメインをサポートします。各 VRF は RIB に関連付けられており、この情報が転送情報ベース(FIB)によって収集されます。

ルーティングの詳細については、以下のドキュメントを参照してください。

- \[Cisco Nexus 9000 Series NX-OS Unicast Routing Configuration Guide\]
- \[Cisco Nexus 9000 Series NX-OS Multicast Routing Configuration Guide\]

トラブルシューティング ルートの初期チェックリスト

最初に次の項目を確認することで、ルーティングの問題をトラブルシューティングできます。

チェックリスト	Done
ルーティングプロトコルが有効になっていることを確認します。	
必要に応じて、アドレス ファミリが設定されていることを確認します。	

チェックリスト	Done
ルーティングプロトコルに適切な VRF が設定されていることを確認します。	

ルーティング情報を表示するには、次のコマンドを使用します。

- · show ip arp
- show ip traffic
- show ip static-route
- · show ip client
- show ip fib
- · show ip process
- show ip route
- show vrf
- show vrf interface

ルーティングのトラブルシューティング

手順の概要

- 1. switch# show ospf
- 2. switch# show running-config eigrp all
- 3. switch# show running-config eigrp
- 4. switch# show processes memory | include isis
- 5. switch# show ip client pim
- **6.** switch# **show ip interface** *loopback-interface*
- 7. switch# show vrf interface loopback -interface
- 8. switch# show routing unicast clients
- 9. switch# show forwarding distribution multicast client

手順の詳細

手順

目的
レーティングプロトコルが有効になっていることを
在認します。
この機能が有効になっていない場合は、CiscoNX-OS こよりコマンドが無効であると報告されます。
レー 在記

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ2	switch# show running-config eigrp all	このルーティングプロトコルの設定を確認します。
	例:	
	switch# show running-config eigrp all	
ステップ3	switch# show running-config eigrp	このルーティング プロトコルの VRF 設定を確認し
	例:	ます。
	<pre>switch# show running-config eigrp version 6.1(2)I1(1) feature eigrp router eigrp 99 address-family ipv4 unicast router-id 192.0.2.1 vrf red stub</pre>	
ステップ4	switch# show processes memory include isis	このルーティング プロトコルのメモリ使用率を
	例:	チェックします。
	<pre>switch# show processes memory include isis 8913 9293824 bfffffld0/bfffff0d0 isis 32243 8609792 bfffe0c0/bfffdfc0 isis</pre>	
ステップ5	switch# show ip client pim	ルーティングプロトコルがパケットを受信している
	例:	ことを確認します。
	<pre>switch# show ip client pim Client: pim, uuid: 284, pid: 3839, extended pid: 3839 Protocol: 103, client-index: 10, routing VRF</pre>	
	<pre>id: 255 Data MTS-SAP: 1519 Data messages, send successful: 2135, failed: 0</pre>	
ステップ6	switch# show ip interface loopback-interface	インターフェイスでルーティングプロトコルが有努
	例:	になっていることを確認します。
	<pre>switch# show ip interface loopback0 loopback0, Interface status: protocol-up/link-up/admin-up, iod: 36, Context:"default" IP address: 1.0.0.1, IP subnet: 1.0.0.0/24 IP multicast groups locally joined:</pre>	
ステップ1	switch# show vrf interface loopback -interface	ー インターフェイスが正しいVRFにあることを確認し
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	ます。
	switch# show vrf interface loopback 99 Interface VRF-Name VRF-ID	
	loopback99 default	

	コマンドまたはアクショ	ン	目的
ステップ8			ルーティングプロトコルが RIB に登録されているこ
	例:		とを確認します。
	switch# show routing unicast clients		
ステップ9	switch# show forwarding distribution multicast client		RIB が転送プレーンと通信していることを確認しま
	例:		-
	switch# show forwarding distribution multicast client Number of Clients Registered: 3 Client-name Client-id Shared Memory Name		
	igmp 1 mrib 2	N/A /procket/shm/mrib-mfdm	

例

次に、EIGRP ルーティング プロトコル設定を表示する例を示します。

```
switch# show running-config eigrp all
version 6.1(2)I1(1)
feature eigrp
router eigrp 99
log-neighbor-warnings
 log-neighbor-changes
 log-adjacency-changes
 graceful-restart
  nsf
 timers nsf signal 20
  distance 90 170
  metric weights 0 1 0 1 0 0 \,
 metric maximum-hops 100
  default-metric 100000 100 255 1 1500
  maximum-paths 16
  address-family ipv4 unicast
   log-neighbor-warnings
   log-neighbor-changes
   log-adjacency-changes
   graceful-restart
   router-id 192.0.2.1
   nsf
   timers nsf signal 20
   distance 90 170
   metric weights 0 1 0 1 0 0
   metric maximum-hops 100
   default-metric 100000 100 255 1 1500
   maximum-paths 16
```

次に、ユニキャストルーティングプロトコルが RIB に登録されていることを表示する例を示します。

```
switch# show routing unicast clients {\tt CLIENT:} am
```

index mask: 0x0000002 2/1 epid: 3908 MTS SAP: 252 MRU cache hits/misses: Routing Instances: VRF: management table: base Messages received: : 1 Register Add-route : 2 Delete-route Messages sent: : 2 Add-route-ack Delete-route-ack : 1 CLIENT: rpm index mask: 0x00000004 epid: 4132 MTS SAP: 348 MRU cache hits/misses: 0/0 Messages received: Register Messages sent: CLIENT: eigrp-99 index mask: 0x00002000 epid: 3148 MTS SAP: 63775 MRU cache hits/misses: Routing Instances: VRF: default table: base notifiers: self Messages received: Register : 1 Delete-all-routes : 1 Messages sent:

ポリシーベースルーティングのトラブルシューティング

- ACL が着信トラフィックと一致することを確認します。
- ルートが使用可能であることを確認します。
 - IP ネットワーク ルートの場合は、show ip route を使用します コマンドを使用して、 set ip next-hop で指定されたネクスト ホップで IP ネットワーク ルートが使用可能で あることを確認します コマンドを使用する必要があります。
 - IP ホストルートの場合は、show ip arp を使用します コマンドを使用して、set ip next-hop で指定されたネクスト ホップで IP ホスト ルートが使用可能であることを確認します コマンドを使用する必要があります。
 - IPv6 ネットワーク ルートの場合は、show ipv6 route を使用します コマンドを使用して、set ipv6 next-hop で指定されたネクスト ホップで IPv6 ネットワーク ルートが使用可能であることを確認します コマンドを使用する必要があります。
 - IPv6 ホストルートの場合は、**show ipv6 neighbor** を使用しますコマンドを使用して、**set ipv6 next-hop** で指定されたネクスト ホップで IPv6 ホスト ルートが使用可能であることを確認します コマンドを使用する必要があります。
- ポリシーがシステムでアクティブになっていることを確認します(**show ip policy** を使用 コマンドを通して)。
- エントリの統計情報を確認します(**show route-map** *map-name* **pbr-statistics** を使用 コマンドを通して)。

ダイナミックロードバランシングのトラブルシュート

整合性チェッカーは、次のように、DLBECMPを使用するルートをトラブルシュートするため に使用できます。

- グローバル整合性チェッカー
 - · test consistency-checker forwarding ipv4 unicast
 - · show consistency-checker forwarding ipv4 unicast

サンプル出力

```
Leafl# test consistency-checker forwarding ipv4 unicast Consistency check started.

Leafl#
Leafl#
Leafl# show consistency-checker forwarding ipv4 unicast IPV4 Consistency check: table_id(0x1)

Execution time: 28 ms ()

No inconsistent adjacencies.

No inconsistent routes.

Consistency-Checker: PASS for ALL
```

- シングルルート整合性チェッカー
 - show consistency-checker forwarding single-route ipv4 ipv4 address vrf vrf

サンプル出力

Leaf1# show consistency-checker forwarding single-route ipv4 64.60.60.0/24 vrf default

Consistency checker passed for 64.60.60.0/24 Leafl#

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。